

小牧市ごみ処理基本計画の進捗状況について

第１回審議会資料で、集計が間に合わなかった「再資源化率」について下記のとおり報告いたします。

①《再資源化率》ごみ処理基本計画 P.24

	R4実績	R5実績	目標値	達成度
再資源化率	36.5%	37.3%	37.8%以上	→

【再資源化率が微増した要因】

- ・前年度に比べ、資源化量(分子)の減少の割合（0.7 ポイント）よりも、ごみの排出量(分母)の減少の割合（2.8 ポイント）が高いため、再資源化率が 0.8 ポイント微増した。
- ・家庭系ごみ、資源の排出量について、令和２年度から猛威を振っていた新型コロナウイルスが令和５年５月から５類感染症へ移行したことにより、自宅で過ごす時間が減ったと考えられることから、家庭系ごみ・資源の排出量は約 1,348t 減少となった。
- ・事業系資源の排出量について、本市では令和５年２月から食品廃棄物の再資源化施設であるバイオス小牧が稼働し、事業系ごみの資源化量約 390t 増加した。
- ・資源について、本市が回収を推進している剪定枝類にあっては、今まで燃やすごみとして排出されていた花やつるを回収品目に追加したことにより約 269 t の増加となったものの、雑がみにあっては、近年のペーパーレス化等の影響により約 35 t の減少となった。
資源の集団回収についても雑がみ同様に近年のペーパーレス化や民間の古紙コンテナの増加による排出機会の多様化及びコロナや子ども数の減少の影響を受け、地元での資源回収の取りやめ等により排出機会や排出量が減少し、集団回収量は約 154 t の減少となった。
- ・埋立てごみを含む ごみ・資源の総排出量は約 1,351 t の減少となった。

令和５年度のごみの排出量及び資源化量（前年度比較）

表２ ごみの排出量（分母）：単位（t）

（※参考）↓

	R4	R5	差(R5-R4)	割合	R3
家庭系ごみ	24,075	22,990	△1,085	95.5%	24,853
内 燃やすごみ	20,662	19,713	△949	95.4%	21,085
家庭系資源（※）	7,867	7,604	△263	96.7%	8,099

	内 雑 が み	707	672	△ 35	95.0%	749
	内 剪 定 枝	1,615	1,884	269	116.7%	1,356
事 業 系 ご み		10,531	10,396	△ 135	98.7%	10,433
事 業 系 資 源 (※)		4,283	4,673	390	109.1%	4,029
集 団 回 収 (※)		1,327	1,173	△ 154	88.4%	1,325
計 (埋 立 ご み 含 む)		48,209	46,858	△ 1,351	97.2%	48,771

(※) 資源化対象。表3で再掲

表3 資源化量(分子):単位(t)

(※参考)↓

	R4	R5	差 (R5-R4)	割合	R3
エコル資源化(スラグ等)	4,139	4,044	△ 95	97.7%	4,389
家庭系資源	7,867	7,604	△ 263	96.7%	8,099
事業系資源	4,283	4,673	390	109.1%	4,029
集団回収	1,327	1,173	△ 154	88.4%	1,325
計	17,616	17,494	△ 122	99.3%	17,842